

政務活動記録簿 (年会費負担)

会派・議員名 中川 たかし

| | | | | |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----|-------|
| 年 月 日 | 平成 31 年 1 月 21 日 | | | |
| 年会費名 | 奈良ヒューライツ議員団 平成 30 年度年会費 | | | |
| 相手方 | 奈良ヒューライツ議員団 | | | |
| 年会費支払目的 | 奈良県内の人権や福祉に関する政策の勉強のため | | | |
| 按分率の説明 | すべて政務活動 | | | |
| 活動内容等 ※年会費支払いの効果を明記のこと | <p>◆本会の活動内容 人権に関する政策の推進を目指し、勉強会を行っている。</p> <p>◆本会の活動頻度 数ヶ月に1度、勉強会を開催</p> <p>◆参加者の状況 県・市町村議会議員等</p> <p>県議会の活動における今後の参考となった。</p> | | | |
| 経費 | 項目 | 金額 | 内容 | 領収書番号 |
| | 会費 | 30,000 | | 101 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 合計 30,000 円 (すべて政務活動) | | |
| 備考 | 添付資料：規約 | | | |

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

奈良ヒューライツ議員団 規約

- 第1条 本会は、奈良ヒューライツ議員団と称し、「人の世に熱あれ 人間に光あれ」の水平社精神のもとに活動する部落解放同盟奈良県連合会と連帯し、且つふるさと創生を柱とする活動を目的にします。
- 第2条 本会は、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃及び人権尊重をめざし、人権文化の政策推進につとめ、ふるさと創生のための経済と文化の構築をめざします。そのために政党会派の枠を超え、議員相互の親睦をはかり政策研究・経験交流を深めます。
- 第3条 本会は、第1条・第2条の主旨に賛同する奈良県内の県・市町村議会議員ならびに元加盟議員の加入をもって構成します。加入承認は会員の推薦に基づき、定例会議で承認します。
- 第4条 本会は、その目的・主旨の会務活動の円滑な遂行のため、総会において下記役員を互選します。任期は1年とします。
- | | | | |
|-------|----|--------|-----|
| 1. 議長 | 1名 | 2. 幹事長 | 1名 |
| 3. 会計 | 1名 | 4. 幹事 | 若干名 |
| 5. 監事 | 2名 | | |
- 第5条 本会の定例会議は総会及び研修等を兼ね、年4回開くこととし、必要に応じて臨時会議、役員会を随時開きます。会議の招集及び総括は議長が行います。
- 第6条 ①本会の会費は年額次のとおりとする。
- | | | | |
|----------|-----|------------|-------|
| 1. 県議会議員 | 3万円 | 2. 奈良市議会議員 | 2万5千円 |
| 3. 市議会議員 | 2万円 | 4. 町村議会議員 | 1万5千円 |
- ②会計年度は2月1日より翌年の1月31日までとします。
- 第7条 本会の運営上の細則は内規とし、都度会議で協議します。
- 第8条 本会は、2002年2月15日より発足します。

【2005年度第1回定例会議（2005年5月10日）で一部改正】

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)

会派・議員名 中川 たかし

| | | | | | |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------|-------|-------|
| 年 月 日 | 平成 31 年 3 月 5 日 | | | | |
| 表題と発行部数 | 中川たかし 県政報告 2019年3月号 | | | | |
| 対象者 | 奈良市全域・山添村 | | | | |
| 配布方法 | 新聞折込 等 | | | | |
| 発行目的 | 4年間の県政の総括を行い、意見等を求める | | | | |
| 按分率の説明 | 50% (政務活動以外の内容を含むため) | | | | |
| 内容 | 県議会のパワーバランスについて 県議会で議論する姿勢について 荒井県政について 委員会運営について 最後に4年間の総括して | | | | |
| 編集・制作・ 発送等に要した 経費 | 項目 | 支払先 | 金額 | 金額の積算 | 領収書番号 |
| | デザイン料 | Grace -Field | 122,256 | | 301 |
| | 印刷代 | Grace -Field | 600,648 | | 302 |
| | 新聞折込代 | 読宣 | 412,506 | | 303 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | ※ 50%充当 合計 1,135,410 円×50%=567,705 円 | | | |
| 備考 | 添付資料：広報誌 | | | | |

注 発行した広報紙を添付してください。

県議会議員 (日本維新の会 33才)

中川たかし



3月1日一般質問

1985年生まれ、東大寺学園中高(生徒会長 2期)

京都大学(経済学部 自治会長 2期)卒業。

2015年4月から県議。県議会にて観光振興対策特別委員長、拉致問題議員連盟 幹事 など。

会派名は2015年から「維新の党」→「なら維新の会」→「日本維新の会」と変遷。

3月1日に最後の一般質問があり、奈良市の課題を中心に、知事らへ質問させていただきました。奈良県議会の定例会は3月15日に閉会予定ですが、閉会してから作成している皆様への報告が間に合いませんので、3月5日現在の状況で書かせていただきます。2015年に

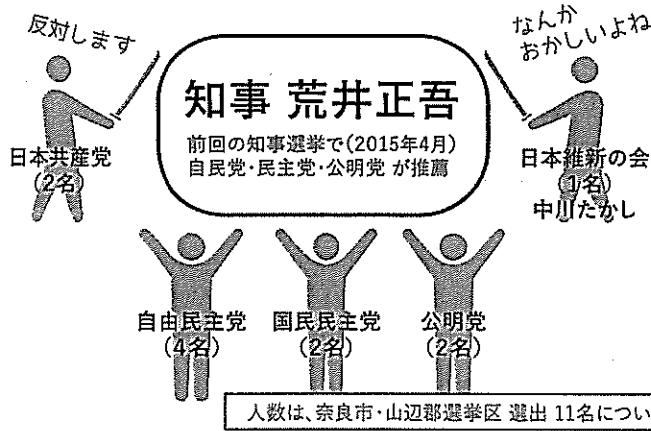
初当選させていただいてから、あつという間でしたが、この4年間で分かったことを総括的に、大きな視点から皆様にご報告させていただきます。

2019年(平成31年)3月5日

奈良県議会議員 中川たかし

※ 県政報告の記載内容は、奈良県議会議員 中川たかしとしての見解であり、所属会派「日本維新の会」あるいは所属政党「日本維新の会」の見解とは無関係のものです。

1. 県議会のパワーバランスについて



など、各党が党議拘束を外して賛否が割れるような重要な議案が、今年度はありました。しかしながらこの4年間、そういったまれな議案を除くと、知事提出の議案に対して、自民党、国民民主党、公明党がほぼ100%賛成。

それもそのはずで、4年前の知事選で、荒井知事に推薦を出して応援していたのが、自民党・民主党・公明党でした。もともと自分たちが応援している知事の議案に反対すれば、逆におかしなことになってしまいます。野党的なイメージの民主党が推薦していたのは意外ですが、自治労をはじめとした労働組合の集まり「連合奈良」が荒井知事を推薦していることが、関係していたかもしれません。

この4年間の奈良県議会のパワーバランスは、自民党、国民民主党(4年前は民主党)、公明党が支える荒井正吾知事、それに是々非々で賛否を示す日本維新の会(4年前は維新の党)、日本共産党...という構図でした。高校再編

日本維新の会が反対した議案は、定員割れが収まらない、桜井市の「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」に代表されるような、優先順位に疑問のあるハコモノ予算、根拠のないボーナス金額引き上げ(議員を含む)などでした。

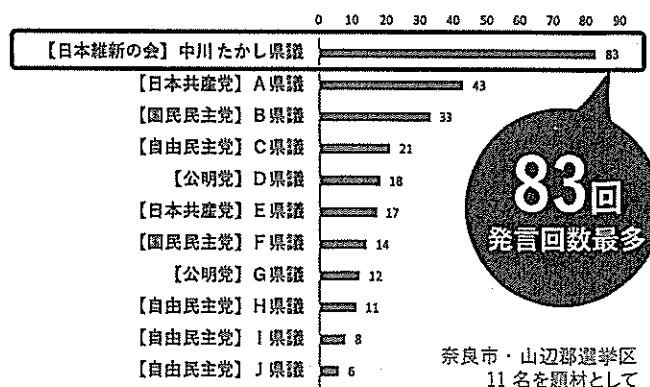
2. 県議会での議論する姿勢について

上で述べた、荒井知事との距離感、応援しているかどうかというのは、議会での発言回数にも影響があるかもしれません。各種の議案や政策について、事前に知事と「調整」できているならば、質問することは少なくなる...という見方もできるからです。

議場で行う代表質問・一般質問について、この4年間、例えば私の場合、壇上で8回、自席に戻ってからの再質問などで75回、合計83回の発言を、あらかじめ与えられた時間内に行いました。

当選回数が多いベテランの方は、若い議員に機会を譲ってあげようと考えたりするので、必ずしも一概には言えませんが、その時の政権(今ならば、荒井政権)と議論をしようとする姿勢について、一つの目安として見る事ができる、かもしれません。

奈良県議会
代表質問・一般質問での発言回数
(2015年4月～2019年3月 奈良県議会定例会)



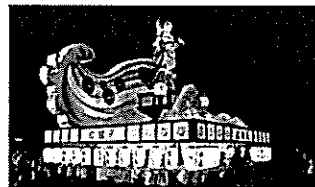
3. 荒井県政 について ~大立山まつりを例として~

荒井知事による県政をどのように評価するのか。出身の国土交通省をはじめ、国と連携しながら、お金を引っ張ってきて、道路建設などうまくやっている…との声を聞くいっぽう、思いつきでいろんなことをやるのは良くない…との声も伺います。

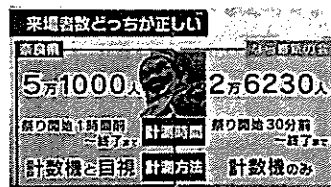
私が県議となって半年後、9月議会に「大立山まつり」なる知事肝いりの議案が提出されました。開催は翌年1月、予算は全額補正予算で、いきなり2億円。本番まで半年も無い状況で、本当に大丈夫かとの思いでした。

偶然ですが、私は政務活動費で人を雇って、来場者数をカウントしていました。第1回目ということもあり、時間帯ごとのピークなど、個人的に分析して勉強しようと思っただけのこと。県が目標としていた3万人に対して、知事は満面の笑顔で51,000人と発表。私の数字は26,230人。この「水増し疑惑」問題は、テレビや新聞で大きく取り上げられ、翌年からはカウントのマニュアルが整備され、厳密に集計されるようになりました。その結果、第2回目からは(やはり?)2丁5000人程度で推移しています。来場者数という基本的な数字が間違っていると、経済効果の計算も、予算の根拠も、全てが狂ってしまいます。

その後、内容自体はというと、第3回まで実施していた大極殿前のスペースが、国の工事(門の修復)で使いにくくなり、朱雀門ひろばへ会場が移動。山車として曳き回していた



第1回大立山まつり 四天王像(2016年)



6ch 朝日放送テレビ 情報番組「キャスト」

| | 時期 | 予算 | 来場者数 |
|------------|------------------------------------|----------|---------|
| 第1回(2016年) | 1月29日(金)~2月2日(火) 5日間開催 | 2億円 | 51,000人 |
| 第2回(2017年) | 1月25日(水)~29日(日) 5日間開催 天宮山境内に置ける | 1億3600万円 | 26,363人 |
| 第3回(2018年) | 1月26日(金)~28日(日) 3日間開催 天宮山境内に置ける | 1億2000万円 | 24,452人 |
| 第4回(2019年) | 1月26日(土)~27日(日) 2日間開催 天宮山境内に置ける | 8000万円 | 23,088人 |

おかしいよね
26,230人
(中川たかし調査)

正しくカウントするようになった



第4回 四天王像は置き物化(2019年)

四天王像(強化プラスチック製)は、動かぬ「置き物」化。4体で製作費8000万円もしたのですが…。

良くいえば即断即決と言えますが、国の動向も見極めずに、思いつきでムリヤリ始めたはずみではないでしょうか。おまけに疑惑のカウント。私にとって象徴的な出来事であり、忘れることができません。議会でも、平城宮跡は雨天に弱いので「雨が降っても屋内で楽しめるような工夫が必要では?」と私が質問したところ「奈良のイベントは天気任せ」と開き直った知事の答弁も、忘れられません。氷山の一角?税金をより良く使う意識を持ってほしいです。

4. 委員会運営 について ~観光振興対策特別委員長として~



奈良県議会の委員会にて(9月10日)



委員会視察で天理市長に質問(8月27日)

1期目でありながら、また当時32才という若輩でありながら、2018年度に委員長という役職をいただきました。県庁の幹部は、自分の父親くらい年が離れている方たちでしたから、就任後の挨拶はこちらから丁寧に伺いました。副委員長とはまた異なった風景を見た1年間でした。

自分なりに課題意識を持っていましたから、委員会の視察

でも、カラーが出たのではないかと思います。従来は「ザ・観光地」といった名所を視察(?)することが多かったのですが、私のときは、工事中の興福寺中金堂はそれとして、天理駅前、橿原考古学研究所の計3ヶ所へ向かいました。

民間との協働のなか「行政として、何をどこまで工夫してできるのか」という視点のもと、コフフンを場とした展開、リスクを背負って SNS で積極的にコミュニケーションする姿など、天理市の職員から学びました。橿原考古学研究所では、県教委から知事部局へ移管された後、どうなっているか?との視点で「市民発掘隊員」などの新しい取組みを聴きました。橿研への視察も、私自身が市民発掘隊員として、遺跡での発掘を経験していたことから提案。現場は大切です。

最後に. 4年間を総括して

自分なりに、一石を投じることができた4年間だったのではないかと、振り返っています。

政務活動費の領収書を、自主的にインターネット上で公開したり(奈良県議会 史上初)、一問一答の制度が導入される前から、実質的に一問一答方式で知事に質問したり。学校の教員用パソコンの整備率が全国最低レベルで、子どもたちのためにも必要だと指摘したり(その後2018年度に予算化)。

大立山まつりのカウント問題では、私自身、各種の催事に関わっているので、人間関係で辛い思いもしましたが、やはりあの時、指摘して良かったと思います。改善のきっかけになったものと思います。



県政報告会(2月9日。佐藤みつり県議、大西あつみ市議、三浦のりつぐ市議も出席)



選挙も控えてますが、県議の任期は4月29日まで。まだ2ヶ月近く残っています。引き続きご指導いただきますよう、よろしくお願いたします。いつでもご連絡ください。

〒631-0801 奈良市左京1丁目11-8-8 中川たかし
E-mail nakataka1985@gmail.com
nakataka